

会 議 録

会議の名称	地域福祉計画進行管理委員会
開催日時	平成26年8月7日(木) 午後2時00分 開会 ・ 午後3時50分閉会
開催場所	市役所 4階 入札室
議長氏名	栗原 正明
出席委員氏名	青山 友子 景山 恵美子 山下 恵久子 橋 裕子 岡本 一男 栗原 正明 橋本 太郎 伊藤 祐一 白水 翠 八巻 泉 下里 隆子 岡崎 幸子 平岡 芳太郎
欠席委員氏名	橋本 康夫
説明者の職氏名	生活福祉課 課長 齊木 安雄 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦
会議次第	別 紙
配布資料	入間市地域福祉計画進行管理委員会名簿 入間市地域福祉計画進行管理委員会要綱 元気ないるま福祉プラン(概要版) 平成26年度進行管理委員会予定表 いるま福祉懇談会について(ご案内)
事務局職員 職氏名	福祉部 部長 田中 利之 福祉部 次長 吉川 毅彦 生活福祉課 課長 齊木 安雄 生活福祉課 主幹 小久保 安浩 生活福祉課 副主幹 神山 幸彦

発言者	発言内容
	委員長・副委員長の選出について
	協議の結果、次のとおり決まりました。(進行は、田中市長)
	委員長 栗原正明 委員
	副委員長 青山友子 委員
	第1回会議の議事録署名人は、名簿順に従い青山友子委員となりました。
	議 題
	議題の(1)から(2)まで資料を基に事務局説明
	(1)「元気ないるま福祉プラン」の概要説明
	(2)今後の予定について
青山副委員長	事務局からの説明で、市役所内に「地域福祉推進庁内連携会議」が設置されたとのことですが、どのようなメンバーで、構成された会議なのでしょう。また、今後の活動方針等で決まったことがあれば教えて欲しい。
齊木課長	「地域福祉推進庁内連携会議」は、福祉部の生活福祉課・児童福祉課・障害福祉課・高齢者福祉課健康福祉センターの健康管理課・親子支援課・健康福祉課、それ以外の課としては、企画課・自治文化課・防災防犯課・市民生活課・生涯学習課・中央公民館の計13課で構成された会議となっています。地域福祉の推進にとっては、庁内の各課が連携して事業を進めることが大切です。先日、開催された会議では、まず「元気ないるま福祉プラン」について共通理解を図り、今後どのような取り組みをしていくか協議しました。地域福祉を進めていくにあたっては、直接的・間接的に様々な事業が行われていますので、まずこの事業についての調査を実施し、その調査結果を基にどのような連携が図れるか話し合っていこうということになりました。また、この連携会議は課長職で構成されていますが、実際の相談を受ける職員・専門職間も連携を図っていくこととなりました。今までも直接相談を受ける職員レベルでは、案件ごとに関係する課の職員間では連携して解決を図っていましたが、定例的な情報交換を行い、連携できる点を話し合っておくことで、事例が発生した時には連携がスムーズにいくようにすることを目指しています。
下里委員	今後の予定として、地域福祉懇談会が市内9地区で予定されていますが、今回は夜間のみの開催なのですね。
事務局神山	前回の懇談会では、一度昼間開催してみましたが、参加者は多くない結果でしたので、今回は夜間のみの開催としました。今回は、近くの会場同士が開催日が近くなるように、工夫してみました。
岡本委員	地区懇談会について、各自治会のどのあたりまで声を掛けていますか。
事務局神山	各地区区長会の正副会長様宛に案内は出しています。その案内のなかで、各地区内の区長・自治会長様にもお声掛けいただき多くの方にご参加いただきたい旨をお願いしています。

発言者	発言内容
伊藤委員	今後の予定として、8月下旬から9月中旬にかけて市内で福祉懇談会が開催され、地域福祉計画の進行管理委員会としては、次回2月に委員会があるとの説明でしたが、福祉懇談会から2月までかなり期間があります。その間にも地区ごとにどのような取り組みが進められているか等の情報が欲しい。
齊木課長	地域福祉計画の進捗状況については、市の取り組みのみならず、社協の取り組みも密接に関連する内容となっておりますので、市の取り組み状況や社協の取り組み状況等の情報提供をさせていただくよう検討していきます。
伊藤委員	以前、地域福祉計画の進行管理委員ということで、個人的に地域包括支援センターに現状の取り組み等のお話を伺いに行ったことがあります。今後も実際の現場の取り組みを自分の目で見るために地域包括支援センター等の福祉に関係する施設に行ってみたいと思っていますが、その際に施設側から、訳の分らない者が来たと思われぬように、事前に市から施設側にお伝えをしておいていただけるとありがたい。
齊木課長	そのことも、庁内や外部組織との連携を充実させていくことと関係すると思いますので、お伝えしていきたいと思います。
栗原委員長	これ以外に何かご質問等がありますか。無いようでしたら、ここで各委員さんから、現在身の回りで起きている課題や、地域福祉に対する思い等をお話しいただきたいと思います。
山下委員	現在、東藤沢の支え合いの取り組みを参考に、自分の住んでいる豊岡第二地区で支え合いの活動を始めたところですが、この支え合いの取り組みをするための準備段階で、地区の方々がひとつの気持ちになっていくのを感じました。この取り組みは終わりのないものです。今私自身が代表という立場ではありますが、この取り組みを次の若い世代に引き継いでいくことが大切であると思うのと他の地区にも支え合いの取り組みを広めていきたいと思いました。
岡本委員	自治会の立場から、今の現状をお話させていただくと、自分の地区でも高齢化と共に自治会離れも進んでいるなと思います。一人暮らしの高齢者も増えています。こういった現状において、一つ一つの地道な活動を行っていくしかないのかなと思います。例えば、ふれあいサロン等でもそこに出て来られない方もいるというのが現状です。計画では、各地区に地域福祉コーディネーターを配置していくとのことですが、こういった点も含めて一つ一つ地道に取り組み、計画が絵に描いた餅にならないようにしていかなければならないと思います。
橋本(太郎)委員	地域福祉は、高齢者の問題だけでなく、子どもや障害をお持ちの方に対する支援も重要であると思いました。
白水委員	民生委員の立場から、「元気ないるま福祉プラン」を一人でも多くの方に知ってもらうことを心がけています。民生委員における研修会でも「元気ないるま福祉プラン」についての説明を市と社協から受

発言者	発言内容
	<p>け理解を深めることに努めています。今年度は理解を深め、来年度から出来る事を一つずつでも実践していきたいと思っています。</p>
<p>下里委員</p>	<p>一つの家族で多くの問題を同時に抱えながら生活している方がいるのが現実です。こういった問題に対応していくために、社協でも「困りごと なんでも相談」を始めていますが、多問題を抱えた家族に対するためにも、ワンストップで対応する窓口の実現が大切になってくると思います。</p>
<p>平岡委員</p>	<p>民生委員として、現在、子育て支援に携わっています。今後、市内各地区で福祉懇談会が開催されます。前は、自分の住まいの懇談会にのみ参加していましたが、今年は、他の地区の懇談会にも参加して、より多くの現状を把握したり、話し合いを通して自分自身も勉強していきたいと思っています。</p>
<p>景山委員</p>	<p>地域福祉懇談会に参加して思うのですが、毎回同じようなメンバーが揃っているなと思います。参加したことの無い方を含めてより多くの方に参加いただくことが必要であり、また、参加が難しいのであればこちらから出向いていき、話しをさせてもらう方法もあると思います。何か良い方法はないかなと私なりに考えたのですが、現在私は、地域包括支援センターのケアマネージャーの研修を企画する立場にあります。ケアマネージャーという専門職の立場でも、計画にあるような内容を知らないということもあります。ケアマネージャーに計画の周知を図っていくことも私の役目だなと思いました。</p> <p>また、先日の話ですが、警察の方が地域包括支援センターに来られることがあり、警察の方から包括って何をしているところなのと聞かれました。「元気ないるま福祉プラン」の周知もそうですが、地域包括支援センターについての周知にも努めていきたいなと思いました。</p>
<p>伊藤委員</p>	<p>「元気ないるま福祉プラン」の策定に携わった立場上、自らもこの計画に沿った行動を積極的にしなければならぬものと思っています。先日、大雪が降った時に、近所を見て回ったら、隣同士で声を掛けあって雪かきをしているところと、何もされず雪がそのまま残っている所もありました。雪かきをしないのではなくて、したくても出来ない状態であるところもあります。このような家庭の前もさりげなく雪かきをする自治会が理想だとは思いますが、皆が同じ気持ちで取り組むというのはなかなか難しい問題でもあります。大きなことはできませんが、自分なりに出来ることをひとつずつでも地道に続けていきたいと思っています。</p>
<p>八巻委員</p>	<p>自分自身でも勉強不足で知らないことが沢山あります。「元気ないるま福祉プラン」に書かれていることを読んで思ったのですが、私自身は山の中で生まれ育ちました。その山間での生活を思い出してみると、雪が降れば隣同士で雪かきをする、何か困ったことがあれば、隣同士で助け合うのがあたりまえの生活でした。「元気ないるま福祉プラン」の夢談義に書かれている思いは、昔私が体験してきた生活そのものだなと思いました。私自身、地域福祉計画の進行管理委員としてやっていけるのかなという不安がある一方で、これなら私にも何か出来る部分があるのではないかという思いもしているところで、では、具体的に何が出来るのかとなるとわからない部分もあるのですが、ひとつひとつ勉強をしてい</p>

発言者	発言内容
	きながら、やっていきたいと思っています。
岡崎委員	<p>今年の近隣助け合い活動推進会の総会を開催した時に、今までより多くの方に出席をいただきました。</p> <p>この総会で、今までとはちょっと違った活気のようなものを感じました。少しずつよい雰囲気が出てきているのではないかと思います。「元気ないるま福祉プラン」をもう一歩前に進めるためには、開催の案内をするだけでなく、もう少し工夫すべき点等の検討が必要ではないかと思います。</p> <p>地域福祉地区懇談会を開催していく上で、実際に活動してみたいという地区が出てきた場合には、直ぐに実際の取り組みへと繋がっていけるように、行政としても真剣に取り組んで欲しいと思いました。</p>
青山副委員長	<p>庁内の連携会議ができたということで、地域福祉への取り組みに対して本気なんだなと思いました。</p> <p>社会福祉協議会の「困りごと なんでも相談」について、概要版の7ページに漫画で掲載されており、わかりやすく、良かったなと思いました。「困りごと なんでも相談」が上手く機能していければよいなと思いました。</p>
栗原委員長	<p>概要版を配っていただきありがとうございます。我々は、「元気ないるま福祉プラン」の策定にも携わってきましたが、策定する立場であってもこのプランがかなりのボリュームでなかなか読み応えがあると感じていました。計画の策定に携わっていない一般の方にも読んでもらうには、概要版は有効だと思いますので、できるだけ多くの方に配っていただきたいと思います。</p> <p>今、各委員さんから地域福祉に対する思いを語っていただきましたが、多くの方から、地域福祉は高齢者の問題だけではないというご意見を聞きました。障害をお持ちの方のこともありますし、外国人の方の問題もあります。私自身も地域の方々のお世話になっているということもありますが、地域には色々な方がおり、様々な支え合いがあると思っています。</p> <p>個人的に東日本大震災で被災された方と一緒に活動もしていますが、このこと自体は直接は、入間市の地域福祉とは外れますが、この入間市においてもいつか災害が発生することも考えられます。それに備えた活動も地域の福祉として重要なんだろうと思っています。</p> <p>以上、各委員から地域福祉に対する思いを語っていただきましたが、事務局からもお願いします。</p>
田中部長	<p>先程、伊藤委員さんからも言われましたが、今年の冬に大雪が降った際に、実際に皆さんの周りではどうだったのかお聞きしたいところがあります。来年2月の委員会までに、委員の皆さんに少し時間は経ってしまっていますが、思い出していただいてアンケートを実施したいなと思っています。</p> <p>このことについて、民生委員の各地区の会長には電話で聞き取り調査を実施したところ。ほとんどの地区会長さんは、主に高齢の方になると思いますが対象となると思われる方に電話で安否確認をしたり、担当地区の民生委員に安否確認をするように電話で依頼をしたとのことでした。</p> <p>ある地区では、国道16号線で立ち往生しているトラックの運転手におにぎりを配ったり、またある地区では、動けなくなっている方を自宅のお風呂に入れてあげたりという行動もあったそうです。</p> <p>支え合い東藤沢に確認したところ、何人かは雪かきをして欲しいとの依頼をしてきたそうです。</p> <p>人は究極の状態になると何かしなければいけないという気持ちになる典型であったような気がします。</p>

発言者	発言内容
	事務局と委員の皆様との情報交換をする一つの方法として、アンケートを工夫して8月中位にはお願いしたいと思っていますのでご協力をお願いします。
	地域を取り巻く環境は10年前と比べて、身につまされる状況となってきています。ここで、手を打っていく必要があると個人的に強く感じています。
栗原委員長	皆様から様々なご意見を伺うことができました。この思いを持って今後、2年間任期を勤めてまいりたいと思います。それでは、何か他にご意見質問等がありますか、無いようでありましたら、これで議長の役を降ろさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
	その他 事務局より
	「入間市福祉大会」8月9日(土) 入間市産業文化センター 午後1時～4時開催の案内
	「孤立防止フォーラム」8月20日(水) 狭山市民会館 午後1時～4時開催の案内
	平成26年8月28日
	議事録署名人 委員長 栗原正明
	委員 青山友子